助成者	石田　紀郎	活動期間	2017年4月~2018年3月、2019年4月~2021年11月
所属機関	NPO法人市民環境研究所	職　名	理事長

アラルの森プロジェクト

【活動場所】カザフスタン アラル海シルダリア河口域カラテレン村
【事業目的】1960年代後半から流入水の減少で干上がり出したアラル海は21世紀に入ると元の面積の10分の1へ縮小。出現した旧湖底沙漠の面積は日本の九州より広く、塩と砂が混じった砂嵐は沿岸地域社会を襲い、気管支炎疾患など人的被害や農作被害を引き起こしている状況にあり、旧湖底沙漠への植生の侵出を加速させ、砂嵐を抑え地域社会存続に向けた活動に取り組む。2006年まで調査研究し、その後植林活動を少しずつ続け約10年多くの失敗を重ねてきた。極めて厳しい土壌・環境条件の中で、植栽個体の活着率向上に向けた新たな育苗方法の考案に取り組む。

植林地で植栽をしている様子

植林地の生育調査

【活動内容】
①天然サクサウール林で種子を採取（低温室で乾燥させ播種の適期まで保管）
②人家付近でサクサウールの苗をプラスチックポットで数ヶ月間の育苗作業
③旧湖底沙漠での植林地の選定と開墾　④生育した苗木の植栽
⑤植栽後の潅水（1回/月）などの管理　⑥植栽後の生育状況、活着率調査
【活動成果】
財団植林地成果: 2017年１ha　活着率90%、2018年１ha 活着率11%
2019年 1ha 活着率46%（18年～19年の範囲が平均的な活着率で17年は驚異的な成果）周辺植林地では、植栽後10年で平均樹高195㎝、残存率64.5%のオアシスと呼ばれる場所も生まれる。現地活動者は、植栽地への直播や秋蒔き用苗木の育苗など新たな試行をするなど継続して改善へ取組んでいる。